

# 産地の労力不足解消に向けて

～県内の先進事例に学ぶ！～

山武農業事務所改良普及課 令和5年11月16日発

山武農業事務所では、雇用を導入した経営改善の事例について学ぶため、雇用を活用し、労力不足を解消している先進事例の視察研修会を10月27日に開催したところ、丸朝園芸農業協同組合の生産者7名と職員4名の参加がありました。

今回の研修会は、県主催の「地域農業・産地力アップ女性リーダー講座」を受講している南瓜部の女性2名の発案により、丸朝園芸農協を対象に企画したものです。

研修では、JA市原市東海営農センター職員及び梨生産者から、梨ボランティアを活用した生産者の支援と産地維持の仕組みづくりや実績について伺いました。参加者からは、「雇用導入を進めるには、生産者と関係機関が一丸となって協力していく必要があることを理解した。」「今後、雇用の導入を検討したい。」などの前向きな感想が聞かれました。

農業事務所では、引き続き、産地の維持・発展に向けた支援を行っていきます。



講師による講義と情報交換